

<学校名> 加須市立志多見小学校  
 <所在地> 加須市志多見633番地  
 <電話> 0480-61-2339  
 <本事例の特徴>

新しいALT(外国語活動指導助手)と出会って約半年が過ぎ、児童はALTに慣れ、楽しく主体的に外国語活動の学習に取り組むようになってきている。先日、外国語活動の授業の中で、ALTの出身国の「ハロウィーン」について学習した。児童が外国の言語や文化について体験的に理解を深めることができた取組について紹介する。

<具体的な取組や成果>

◎具体的な取組

○外国語活動の授業～外国語活動指導助手（ALT）の効果的な活用事例

- ・外国語活動の授業の中で、ALTに出身国の「ハロウィーン」について紹介してもらった。ALTには「Show and Tell」を取り入れ、仮装用の衣装やハロウィーンの飾り等の具体物も示しながら、話してもらうようにした。また、児童全員が順番に仮装を体験するゲームも取り入れた。友達が仮装する姿を見るたび、児童は「うわぁー」と歓声を上げ、「ハロウィーン」についての興味を深めている様子だった。

- ・授業の流れ

単元名「外国のハロウィーンを知ろう」

学習内容・学習活動		時 間	
1	ALTや友達と挨拶をする。	3	分
2	本時の学習のねらいについて確認する。 ねらい:「ALTの国のハロウィーンについて紹介してもらおう」	3	分
3	ALTの国の「ハロウィーン」について具体物を見せてもらいながら話を聞く。	10	分
4	仮装して、ビー玉をもらう「トリック オア トリート」ゲームを行う。	20	分
5	感想を発表し合う。	6	分
6	ALTと挨拶する。	3	分

○児童の感想より（一部）



ぼくは「今日はどんなことをやるんだろう。」と少し不安でした。でも、仮装するゲームで着がえが始まると、とても楽しくなりました。「トリック オア トリート」という言葉も覚えられたので、よかったです。

今日は、「ハロウィーン」についての学習でした。「トリック オア トリート」ゲームでは、みんなとわいわい楽しくやりました。私たちもこんなに楽しいのだから、他の国の人たちも「ハロウィーン」を楽しみにしているのだろうなあと思いました。



今日は「ハロウィーン」の学習で、仮装しました。仮装はおもしろかったです。仮装ゲームのとき、僕たちのグループは早く着がえられたので、お菓子の代わりにビー玉をたくさん集めることができました。とてもうれしかったです。実際の「ハロウィーン」では、子供たちは本当にお菓子がもらえるそうです。少しうらやましいです。他の国にも、おもしろい行事があるなあと思いました。

### ◎成果と課題

- ALTから、「ハロウィーン」についての話をただ聞くだけの学習ではなく、「Show and Tell」を取り入れ、仮装用の衣装やハロウィーンの飾り等、実物を用意したことで児童の興味・関心をより高めることができた。
- 「トリック オア トリート」という仮装する速さをグループ毎に競い合い、お菓子の代わりにビー玉をどれくらいとれるかというゲーム活動を行ったことで、児童は知らず知らずのうちに楽しみながら異文化に触れ、理解を深めることができていた。
- ALTの国の様子がわかったら、今度は「日本のことを教えてあげよう。」という声が児童の中から聞こえてきている。ALTから紹介されたときに感じた習慣の違いやおもしろさを、今度は児童が提供したいという気持ちを大切にしたい。そして、互いの文化の違いを知り、認め合っていくことがお互いの理解を深めるために重要であることを指導していきたい。